

3ヶ月シリーズ講座

はじめての陶芸

講師 村上 光男 陶芸家

土くれをこねて焼くと器になる、そんな単純な作業がこのうえなく楽しいのはなぜでしょう。入れ物を作るだけならどんな形でもどんな色でも良さそうなのですが、太古の昔から人はさまざまな文様や美しい色、そして形を作り出してきました。美しいものを作り出すからこそ人間だとも言えます。さあ皆さんも挑戦してみましょう。自分が作った器や花瓶が身近にあるというのが嬉しいものですよ。(エプロンとタオルをお持ちください)

◇3ヶ月シリーズ講座 9月～11月 各日 18:30～20:00 定員 15名

日時 9月10日(木) 「手びねりの基本」

陶芸と一口に言いますが、実は陶器と磁気の種類があって、この2種は材料が違います。

陶器は土ものといって伊賀焼とか信楽焼に代表されるようにゴツゴツした感じですが。

磁気は長石や珪石を含むもので、基本真っ白で焼きが固く透明感があります。講座で作るのは陶器で、どんなに下手(?)でも、それなりのあじわいが出てくるので不思議です。にわか陶芸家になったようで気分がいいものです。一度挑戦してみませんか。

10月8日(木) 「絵付け」

前回作ったものに絵を描いてゆきます。絵の具のような呉須という青色の染料ですが、あまり深く考えずに思いのままに描いてゆけばそれはそれで良いのですが、やっぱりやるからには素敵にと細い筆と太い筆を使い分けて凝った絵付けをする方もいます。

どんな柄にしようかと前もってプランを持っておくのと良いのでは? アクセント用に緑色やピンクもありますよ。

11月12日(木) 「打ち込み型を使って」

これはとても簡単です。粘土を板状に伸ばし、六角形や星形などの様々な皿型の型に押し当てて作ってゆきます。

手びねりとは違い、均一な形の器が作れます。

この作品は絵付けはなくて色を指定して焼いてもらい、後日お渡しします。(この回でつくった作品は後日お渡しすることになります)

参加費 (3回分) 会員 7,350円 ビジター 8,850円(材料費含む)

6ヶ月シリーズ講座

茶の湯 つれづれ噺

講師 浅沼 宗博 今日庵名誉師範正教授・皇学館大学現代日本社会学部特別招聘教授

茶道・華道・香道(書道を入れる場合もあります)を三道といい室町時代にその作法たちの基礎が定まったと伝わります。中でも茶道は、はじめは貴族階級や僧侶のものでしたが、その後武将や大商人に広まり、江戸時代になると庶民階級にまで浸透していきました。茶道は総合文化といわれています。その歴史はすなわち日本文化の歴史ともいえます。室町時代から江戸時代の茶人の逸話などを、やさしくも解いていただきながらその時代時代を社説に、またしなやかに生きた人々の生涯に思いを馳せてみます。(季節、進み具合など諸事情により講義内容を変更することがあります)

◇6ヶ月シリーズ講座 10月～'21.3月(6回講座) 各日 18:30～20:00 定員 20名

日時 10月22日(木) 「茶人ものがたり」① —書院茶と佗茶の変革期の茶人—

書院茶(会所の茶)…「足利義教」「足利義政」「織田信長」「豊臣秀吉」
佗茶…「村田珠光」「竹野紹鷗」「千利休」

11月19日(木) 「茶人ものがたり」② —織田信長・豊臣秀吉の茶頭—

織田信長・豊臣秀吉の茶頭
「今井宗久」「津田宗及」「山上宗二」

12月17日(木) 「茶人ものがたり」③ —利休の生涯—

「利休の家族」

'21. 1月21日(木) 「茶人ものがたり」④ —利休の生涯—

「利休の最期」

2月18日(木) 「茶人ものがたり」⑤ —江戸初期の茶人たちと三千家の分立—

「千少庵」「千宗旦」「金森宗和」

3月25日(木) 「茶人ものがたり」⑥ —郷土の茶人(宗旦四天王)—

「杉木普齋」

参加費 (6回分) 会員 5,400円 ビジター 8,400円

6ヶ月シリーズ講座

茶の湯、初めての体験

講師 浅沼 宗博 今日庵名誉師範正教授・皇学館大学現代日本社会学部特別招聘教授

単にお茶を飲むだけの行為が芸術にまで高められた茶道、日本ならではの文化と思いませんか? 習ってみたいけど…難しい作法はあるし、着物は着られないしと尻込みをしてみがちですね。「少しは触れておきたい」「日本人として、正しいお作法を身につけたい」など、茶道を習いはじめるきっかけは人によって様々ですが、始めてみると思っていた以上に楽しくなるのも茶道の極意です。大丈夫、浅沼先生がその人に合わせて優しく教えてくださいます。生活にリズムをつけるためにも、ぜひ始めてみませんか?

コロナウイルス感染防止対策のため、参加人数を制限させていただくか、申し込み状況によっては2班に分けさせていただきます。茶巾は、今回から各自購入していただき、袱紗なども含め持ち物の貸し借りをせず、マイ茶巾をお使いいただくこととなります。安心していただける新しいお稽古の在り方を検討しながら進めてまいりますので、講座推進については先生、スタッフの言葉に従っていただきますよう、お願いいたします。安全を最優先として、細心の注意を図り、万全の態勢で臨みたいと思っておりますので、どうかご理解とご協力をお願い申し上げます。

(茶巾を各自ご購入の上、袱紗など一式をお持ちください。また、先生のご都合により日時が変更になる場合がございます。)

◇6ヶ月シリーズ講座 10月～'21.3月(6回講座) 各日 13:00～15:00 定員 20名

日時 10月17日(土) 「日常に生かされる茶の湯」① '21.1月23日(土) 「日常に生かされる茶の湯」④

11月28日(土) 「日常に生かされる茶の湯」② 2月20日(土) 「日常に生かされる茶の湯」⑤

12月19日(土) 「日常に生かされる茶の湯」③ 3月27日(土) 「日常に生かされる茶の湯」⑥

参加費 (6回分) 会員 8,400円 ビジター 11,400円(茶葉代・材料費含む)

6ヶ月シリーズ講座

伊勢根付づくりに挑戦!

講師 中川 忠峰 国際根付彫刻会伊勢支部長

伊勢みやげとして一世を風靡した「伊勢根付」。これは朝熊黄楊という伊勢にしかない材料に恵まれていたからです。手で撫でているうちに色はあめ色に変化し艶を増し、すべすべ感がなんともいえない癒しをもたらします。刃物の使い方覚えるためのペンダントトップ作成から始めて、先生の丁寧な指導のもと根付け作成へと進んでいきます。 ※彫刻刀セットをお持ちください、お持ちでない方はご相談ください。

◇6ヶ月シリーズ講座 10月～'21.3月(6回講座) 各日 18:30～20:30 定員 15名限定

日時 10月9日(金) '21.1月22日(金) この回のみ第4金曜日

11月13日(金) 2月12日(金)

12月11日(金) 3月12日(金)

参加費 (6回分) 会員 10,200円 ビジター 13,200円(材料費含む) ※作品により追加費用をいただく場合があります。